

第35回三重県作業療法学会 演題発表者のご紹介

今回の広報では、学会で発表していただく先生を紹介させていただきます。
ご紹介させていただく先生は、佐野 佑樹先生、服部 友菜先生、弓場 圭太先生です。
3名の先生から、「なぜ演題登録をしようと思ったのか？」という内容でお話を伺いました。
ぜひ、ご覧いただけたらと思います。

佐野 佑樹先生 【長太の寄合所 くじら】



きっかけは「孫や友人のために手料理を振る舞うことが好きで、そのために買い物を継続したい」方との出会いでした。その方は「探している商品が見つからない」、「お金の計算が苦手」となり、買い物を諦めかけていました。そこで社会側をアップデートする認知症フレンドリー社会の視点をもとに、認知症のご本人が楽しく買い物ができる環境を、企業や行政、地域ボランティアらと形にすることが出来たため、報告したいと考えました。

服部 友菜先生 【県立志摩病院】



私は身体障害OTとして週4日、精神障害OTとして週1日勤務しています。一昨年VR-SSTの院内研修会があり、「VR？面白そう」と思い、参加したのですが、実際体験してみると思っていた以上のリアルさに驚き、精神の経験が少ない私でも臨床で使えるかもしれないと思いました。
今回、VR機器デモ使用の経験をまとめ、報告することで(レンタル費用が必要なので…)病院の許可をいただけないかと大きな期待をしています。

弓場 圭太先生 【松阪市民病院】



以前から研究及びその発表に少し興味があったからです。何事も経験しておく方が良いと感じており、この機会が価値のある人生経験となり、自分自身の成長に繋がると考えています。
初めての挑戦のため、かなり不安で自信はないものの、先輩が手取り足取りサポートしてくださる環境であることも演題発表に挑戦しようと思えた理由です。

当日は過去最多となる25演題の発表を予定しています。3名の先生方をはじめ、その他にも興味深い演題も数多く、見所たっぷりです。ぜひこの機会に、事前登録をお願いいたします！

以下の学会ホームページ（参加登録ページ参照）URLおよび右記のQRコードからお申し込みが可能です。

URL：<https://sagouryouhougakkai.wixsite.com/my-site-1>



問い合わせ:35mieotgakkai@gmail.com